

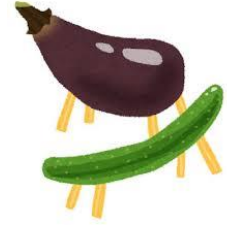
管理事務室の日誌：平成 30 年(2018) 8 月 第 113 号

{盂蘭盆会行事について}

可愛い子たちのお盆のご供養を以下の日程で予定させていただきます。

期日：平成 30 年 8 月 15 日(水)読教時間：午後 1 時より

施餓鬼のお塔婆も受付しております。



～7 月の SNS より～

・今週も危険な暑さが続きそうですね。

屋外活動をされる方はこまめに塩分、水分補給と休憩をとり熱中症を防いで下さいませ。

ワンちゃんのお散歩も陽が昇る前、陽が沈んだ後にしましょう。

夕暮れ過ぎ、隣接する森の奥からヒゲラシの羽音とともにフクロウの

鳴き声が聞こえます。姿を見せない森の住人を模した置物を

休憩所に配置いたしました。



・毎日暑い日が続きますね。

今朝は曇り空、30℃を下回ると多少は涼しく感じます。

二つある片方のメダカ鉢のホテイアオイが花を咲かせました。

水面に浮かび風に揺られる姿はまるで蓮の花に様に見えます。

花言葉は「恋の楽しみ」「恋の悲しみ」



水面に浮かぶその姿にちなんで「揺れる心」という花言葉も付けられています。

黒アゲハ

暑さみぎる 7 月の朝、県内に於きましてワンちゃんをご家族をお迎えました。

ご家族は一週間ほど前に体調を崩し寝たきりになったワンちゃんを、

それまでの庭の小屋から冷房の効く建物内で看病をしておりました。

飼い主である娘さんは難病生活を強いられワンちゃんの介護はもっぱらお母様が担い、

亡くなるまでは床擦れにならぬよう寝返りをさせたり傷の消毒の施しをなさっておりました。

葬儀当日、準備が整いお迎え待ちのひととき、ご家族がこれまでの

思い出話をしておりましてどこから入ったのか黒いアゲハ蝶が

家の中で羽をぱたつかせお母様の肩に落ちてきました。

さほど驚く事も無くお母様は懇談の仲に加わった小さな生き物を

羽が痛まぬ様に両の掌で優しくつまみ窓の外へ放しましたが

舞い戻り再び肩に乗る・・・これを 2 回繰り返したそうです。

私がお迎えのチャイムを押すと同時に黒アゲハは何か役目を果たしたかの様に外へ飛び立った姿に「きっと

お母さんにお礼を言いに来たんだよ」と亡くなったワンちゃんが姿を変えて最後の

お別れをしてくれたんだ、と娘さんが労いの言葉を掛けておりました。

